

1. 「はい」が多かった点

- 100% ④ 「こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等ディサービス計画が作成されているか」
- ⑦ 「支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか」
- ⑫ 「こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか」
- ⑭ 「個人情報に注意しているか」

90～95% ② 「職員の配置数や専門性は適切であるか」

- ⑤ 「活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか」
- ⑧ 「日頃からこどもの状況を保護者と伝えあい、こどもの発達の状況や課題について共通理解ができているか」
- ⑨ 「保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか」
- ⑪ 「こどもや保護者からの苦情について、対応の整備をするとともに、こどもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか」
- ⑬ 「定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信しているか」
- ⑱ 「事業所の支援に満足しているか」

2. 「はい」が少なかった点

- 50% ⑥ 「放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのないこどもと活動する機会があるか」

60～70% ③ 「事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか」

- ⑩ 「父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか」
- ⑮ 「緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか」

3. 今後の対応

- ・ 障がいがないこどもたちとの交流については、他の学童や児童館と交流する機会をさらに増やしていく。
- ・ 保護者同士の連携については、保護者会を年1回以上の頻度で開催していくとともに保護者とこどもが参加できるイベントなどを催し、保護者同士が交流できる場を積極的に設けていく。
- ・ 非常時等の対応については、避難訓練を定期的に行っていくとともに、非常時の対応を保護者に対して周知をしていく。